

個人の部 優秀賞

1年生



「さかなつれたよ」  
中野 敦仁さん/広島県



「サファリパークできりんをみたよ」  
高田 智慧さん/東京都

4年生



「はじめてのあゆ丸ごと」  
河西 杏華さん/山梨県



「友達といっしょにスイカわり」  
橋本 歩優さん/愛媛県

2年生



「ぼくのピーマン」  
青木 勇陽さん/福岡県



「かにの三兄弟」  
久能 あかりさん/静岡県

5年生



「来年の夏は一緒にみようね!」  
山本 珠由和さん/東京都



「けんかの種」  
岩本 楓華さん/宮崎県

3年生



「花火に祈りをこめて」  
篠原 利花さん/東京都



「川であゆを見つけたよ」  
河野 仁宥さん/和歌山県

6年生



「大好きなスイカ」  
松下 優子さん/静岡県



「釣れたぞ鯛」  
堀川 惺太さん/兵庫県

※その他の入選作品については、手づくり絵はがきコンクールホームページをご覧ください。

手づくり絵はがきコンクール受賞者発表

たくさんのご応募ありがとう!  
いつもと違う  
特別な夏の思い出と、  
リサイクルの体験を忘れずに。



団体の部 最優秀賞 奈良市立左京小学校(奈良県)



奈良市立左京小学校(1年生)の皆さん

団体の部・最優秀賞というまぶしすぎる賞をいただき、大変驚き、喜んでます。コロナ禍の中、いつもと違う学校生活の日々となっている子どもたち。楽しみにしていた行事もなくなってしまったりする中、何か心に残る楽しい活動にチャレンジしよう!と取り組んだのが、はがき作り体験でした。とは言え、子どもたちはもちろん、私たち教師も初めての紙漉き。ミキサーにかけ時間は?ちょうどよい「パルプ」の量は?と試行錯誤でした。乾燥

するまでは不安でしたが、手に取って「ちゃんと紙になってる!」「やったあ!」という子どもたちの声に、ほっと一安心しました。「どうやって紙ができるのかわかった」「もっと作りたい」と子どもたちは口々に話していました。絵の具を使うのも子どもたちにとってほぼ初めてでしたので、大変でしたが、がんばって描きました。子どもたちとずっと覚えておきたい、とっておきの幸せをいただきました。本当にありがとうございます。

個人の部 最優秀賞 吉田 遥香さん(栃木県)



「わたしも見習いたい根性」

牛乳パックから葉書を作れると聞き、どうやって作るのだろうととても興味を持ちました。パルプ液を作るまでにとっても時間がかかり、パルプ液を平らにするのがむずかしく、ぼこぼこになったりしました。紙作りは思っていたよりも難しかったです。春に学校から「ど根性ひまわり」の種をもらいました。「ど根性ひまわり」は東日本大震災の被害にも負けず咲いたひまわりです。新型コロナウイルスのために学校は休校が続いていましたが、めげずにがんばろうとこのひまわりを植えました。夏には私よりも高くなり、大きな花が咲きました。遠くに住んで会いに行けないおじいちゃん達に見てもらいたくて絵はがきにしました。まだコロナの影響は大きいけれど、このひまわりのようにど根性で乗り越えたいと思います。今回、私の絵はがきを最優秀賞に選んでいただきありがとうございます。



吉田 遥香さん/栃木県・4年生